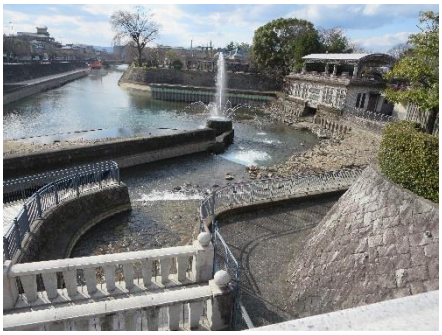
主催：関西広域小水力利用推進協議会
小水力発電キャッチアップ講座（第３回）

琵琶湖疏水は水力発電発祥の地・・・

疏水の歴史を学んで、大胆（小水力）シミュレーションしてみませんか？



琵琶湖疏水は 1885 年（M18）に工事が始まり 1890 年に竣工、第１期蹴上発電所は 1891 年（M24）に送電開始をしております。
京都市民にとって琵琶湖疏水はまさに「水と電気」をもたらした明治の大事業です。
もし仮に、あの琵琶湖疏水で小水力発電をしたいと考えた場合（出来る、出来ないは別として・・・）どんな課題、手続き、技術的問題があるのか、それを参加者と協議会スタッフとワークショップ形式で、大胆に議論してみようという企画です。「小水力発電、どうして進まないの？」という疑問や課題について、具体的な場所を想定して、大胆にシミュレーションしてみることで解決すべき課題を発見し、ならばどうすればいいのか、など話しあってみましょう。

○２０１７年３月２０日（月祝）午後１：３０～４：３０

○京都市下京区　しんらん交流館（ＡＢＣ会議室）東本願寺北側

定員７０名（ＴＥＬ075-371-9208）

○参加費、会場費用として 500 円

○京都市職員の方が「出前トーク」をしてくれます
　タイトル：「京都のまちに電気の灯りを
　　～琵琶湖疏水と水力発電～」
　講師：京都市琵琶湖疏水記念館学芸員　久岡道武さん

○ワークショップ学習会

「大胆シミュレーション！

あの疏水でなぜ小水力発電ができへんの？」

与えられた想定場所の情報をもとに、小水力発電所を造るためには何から始めるのか、どうしたら出来るのか参加者と話し合っていきます。

○申込先：下記へ参加される方のお名前をお知らせください
　協議会アドレス　info@kansai-water.net　又は電話＝０８０－７０５１－５８３０
○締切り３／１５（水）　○問合せ先　関西広域小水力利用推進協議会０８０－７０５１－５８３０（里中）